

日支國交基本條項物動計畫、鐵鋼價格對策が本日閣議に附議決定を見たが、日支國交條項は何れも十五日内奏の上一兩日中に訓令されるとしてゐる。

△歐洲戰況

朝夕刊政治面の大半を埋めてゐる歐洲戰況關係のニュースも要するに次の三點を報じてゐるに過ぎない。即ち、

- 一、獨軍バリ入城（ワシントン同盟、至急報其他）（メルリン同盟）
  - 二、獨軍更に追撃（メルリン同盟）
  - 三、獨軍更に追撃（メルリン同盟）
  - 三、スペイン、タンヂール占領（マドリッド同盟）（ニューヨーク同盟）
- である。其他佛政府がポルドーへ移る（紐育同盟）佛首相が米大統領に援助懇請のメツセーヂを送つた（ツール同盟）が主なもので、社會面では「讀賣」がメルリン特派員との國際電話を掲げた他、各紙共、軍事専門家乃至外交權威者の談話など掲げてゐるが五十歩、百歩の感がある。紙面全體の感じでは歐洲戰爭關係一色で、宜昌占領等の皇軍奮闘を報ずる記事も相當のスペースが與へられてはゐるが、支那事變をもつと讀者に印象付ける態度が望ましい。二流紙以下も特電で紙面を飾つてゐるが、同盟で足りるものを意味のない特電を尊重する弊は一考を要しよう。

- △其他
  - 一、輔政官設置を閣議決定（朝刊）
  - 二、大學制度改革案、委員會決定（朝刊）
  - 三、米、わが重慶爆撃を抗議（ワシントン朝日）（夕刊）
  - 四、英兵上陸説、超印政府否定（バタヴィア朝日）（夕刊）

今日の新聞論調（第五百四十一號） 内閣情報部 一五・六一七（日）

内 容 目 次

- △外交政策と舉國體制（國民）
- △大陸建設の犠牲（朝日）
- △新政動計畫の示唆（朝日）
- △民政黨の逡巡（報知）
- △實行豫算の編成（讀賣）
- △鐵鋼價格の問題（日日）
- △重慶第三國人の退避勸告
- △生活問題解決の途（報知）
- 一、重慶作戰と第三國（日日）
- △綱紀と官規と國民精神（中外）
- 一、第三國人の重慶退避勸告（讀賣）
- △佛國の和戰の岐路（朝日）
- △國府聲明と租界問題（日日）

× × ×

△外交政策と舉國體制（十六日付國民）

新らしい時代の外交路線は民族の運命を決する如き性質の重大性をもつ。國民全體の力を総合的に把持し得る者が現れて初めて外交政策の方向づけも決定し得られ、個々の重大

なる外交措置も講じ得られる。これらは内閣そのもの或は外相その人の貧困の問題であるよりは、強固なる國民的協力体制の缺如に歸結し得る。眞に力強い外交を遂行し得るためには何よりも強力なる舉國的勢力を集結せざるを得ない。以上の如き客觀的要請の下に辿りつゝある日本の國民的再編成の進行の現状は、不滿不安の念を禁ずる能はざらしむるものがある。歐洲勢力配置關係の根本的の變動は、目前幾多の我國にこり有効なる外交的駈引手段を展示し來るであらう。しかし我々はこれらの手段を現在の如き政治力のまゝでは不用意に採算することに反對する。強き徹底的なる外交手段は、少くともかゝる政治力の結成と同時的なものでなくてはならぬ。對支方針を動搖することなく遂行して行くこと國民的新體制の編成を急ぎ實現することが、何より急務である。

△新物動計畫の示唆(十六日付朝日)

七月以降を包括する本年度物動計畫が決定したが、昨年度に比し計畫は遙かに周密化し、所要物資の供給總量は相當壓縮されると共に集中的な重點主義が採用される所に大きな特色があると言はれる。全體としての民需方面の窮屈化が免れぬとすれば、物價に對する影響は改めて語る迄もない。従つて物價對策の早急なる強化は新物動計畫實施上絶對的な要請でなくてはならぬ。↓

重點主義は生産經營の上でも採らねばならぬが、工場の合理化、産業の合同、統一を推進せしめざるを得ない。今の場合は統合による工業の高度化の問題でなければならぬ。今度の綱鑑問題でも解るよう、低物價と生産力との相撞する二つの問題解決が高度の方策を要求する新しい段階に當面したことを物語つてゐる。物動計畫の周密化と壓縮とは、經濟界の統制がもつと圓滑に進められねばならぬ。即ち單なる企業間の合同や整理を越えた、新しき企業體制と新しき事業精神とを要求すること愈々急なるものがあるといはねばならぬ。

△實行豫算編成(十六日付讀賣)

政府が議會で義務づけられた實行豫算の編成はその緒にさへついてゐない。物動計畫の決定を俟つために今日まで遷延したとすれば一應尤もであるが、四圍の情勢が變轉しつつある際物動計畫と雖も腰だめに終らざるを得ない。とすれば、實行豫算の編成は必ずしも今日まで晩らせる必要はない。何れにしても實行豫算の編成は不可避である。事變關係の豫算の實行を支障なくするためにも、不急不要の經費を思ひ切つて削減することの必要は一般の廣く認識する所、しかも民間經濟界は國內外の新情勢に應じ、また新物動計畫に従つて整理再編成の過程に入らんとしつつある。このとき政府獨り老犬豫算を固執するは徒らに戰時經濟運行を不圓滑にするのみである。時局對策と關係少き經費の削減はこの際政府

の覺悟を示し、國民を緊張せしめる上にも緊要である。

### △重慶第三國人の退避勸告

一、重慶作戰と第三國（十七日付日日）

重慶が交戦地域であることに議論の餘地はない。國運を賭して戦ひつつあるわが國が敵の抗戦首都の攻撃に果敢であるは當然であつて、この地に集まる第三國人またその點につき十分理解が出来てゐる筈だ。然るに日本はこの機においてすら第三國權益の尊重に萬全を期して來たのであり、作戰上の犠牲を忍んでまで今日第三國人の安全地域避難を求めてゐるのである。各國ともにわが勸告に従ふべきは當然にして、然らざる場合責は彼等にある。然るに米國はわが重慶攻撃に筋違ひな申入れをなした。米國が全海軍を太平洋に集結對日示威をしながら英佛危機に瀕するや對日國交調整のゼスチユアを示し、一方筋違ひの申入れをなす如き無責任な言動は徒に日本國民を反撥せしめるのみである。有田外相は直に反駁したが當然の措置である。第三國の不法態度は假借すべきでない。第三國への今回の申入れは第三國の必要に基き援蔣第三國に對しては更に強固かつ根本的な要求を以て重慶作戰の完遂を期すべきを要請する。

二、第三國人の重慶退避通告（十六日付讀賣）

有田外相が英米佛獨ソ各國大使に對し、重慶第三國官民の退避を通告したことは、舊曆の覆

滅を圖らんとする重大決意を表明したものに外ならぬ。わが重慶空爆に對してハル國務長官はわが軍が故意に市民並に第三國人に危害を加ふるかの如き談話を發表し、グルー米大使もわが軍非難の聲明を手交するに至つた。しかし重慶が現在いかなる地位にあるか。況んや重慶當局は第三國の官衛等を利用せんとしてゐる。これを黙認する第三國こそ敵の軍事行動を支援するものである。わが軍は作戰上の不利を忍びつつ第三國の危害を避けんとしてゐるにも拘らず、米政府よりこの非難を聞く。寧ろ抗議はわが國より發すべきであり本末顛倒も甚しい。わが今回の勸告に従はざるものあれば爾今一切の責任がそのものにあるはいふまでもない。この際我國のなすべき所は事實處理の促進に外ならぬ。第三國としてもこの現實を正視し速かに機宜の措置に出づべきを希望する。

△國府聲明と租界問題（十六日付日日）

南京國府は在支交戦諸國の軍隊艦船の撤退を要請すると共に交戦諸國の權益授受をも否認する外交部聲明を發した。今回南京國府のこつた措置は自己防衛の租界對策である。しかしこれ等の措置は現實的對策であつて、根本的には租界回收まで進まねば意味をなさない。根本措置に出づべき機会は醗酵されてゐる。租界は支那の順調なる發展を弛め且つ防禦する存在である。租界回收は國府にこつて生存權の要求である點を思へば目的達成に積極的でなければならぬ。租界問題は日本にこつても國民的慾求である。租界の存在が日本

の支那事變遂行に如何に妨害となつて來たかはいふまでもない。日本の事變處理が東亞新秩序の建設にあり、西歐諸國の侵略から東亞を解放することを要因とする。そこに日本の租界對策が重大意義を持つ。日本は近衛聲明において率先租界返還に善處を力説してゐる。租界問題に關する日支協力は必要であり、兩國ともに租界問題解決への前進を要請されてゐる。東亞新秩序の前進目標として租界對策が切實に考究さるべき時が來てゐると思われる。は信する。

#### △大陸建設の犠牲(十七日付朝日)

新東亞の開拓と建設とは、凡ゆる方面に、凡ゆる種類の犠牲を要求することによりその目的を達成しつつある。而して或る場合、劍と鐵を區別すべき大なる理由を見出し得ないことさへ珍しくない。最近公表された滿洲國瑞穗村匪賊襲撃事件の犠牲者の如きその大なるものである。かかる事件に接し痛感されるのは第一に拓土が常に生命の危険に曝れてゐるといふことであり、第二に滿洲匪賊の目標が漸く單なる抗日的であるより食料日用品などの物資に對する掠奪的方向に傾いて來つつある事實である。滿洲國治安問題が密接に物資政策と結び付いてゐるといふ事實に着目しなければならぬ。而も此際滿蒙開拓義勇軍の五百五十八名の勇士が十五日東京通過晴れの壯途に上つた事實は國民に少からぬ感懷を與ふるに足る。大陸に働かんとする内地官吏が従らに勤続年限や恩給問題に頭を悩まし、

又大陸に投資を求められた内地財閥も動もすれば利率の計算に走らんとする傾向を免れない時に當り、わが大陸建設に挺身する土の戰士の姿は一段と光を放つ思ひさへある。

#### △逡巡する民政黨(十六日付報知)

民政黨の同近者が新黨の大勢を阻止せんとしてゐるのも反動力としての役目を演じてゐるに過ぎない。民政黨が黨名と政綱を變改し、あはよくば近衛公の新黨計畫を封殺せんと企圖しつつあることは公知の事實である。かかる末梢的な技術は何の後にもたつものではない。既成政黨に對する不信は單にその政策や黨名を對象とするものでないことは明白である。その自体がもつ性格に信がおけないのである。滅私奉公の精神に燃えてゐるものは國民の組織体より遊離してをり、國民組織の上に立つと思はれるものは黨略や自己の利害にのみ拘泥してゐる所に國民の惱みがある。この惱みから脱れんとする國民的要求が既成政黨の解消と強力政黨の樹立運動となつてゐるのであつて、民政黨幹部はこの筋合が解らぬのであらうか。このままなほ逡巡してゐるならば大勢の赴く所元も子もなく踏み潰されてしまふであらう。

#### △鐵鋼價格の問題(十七日付日日)

今度の決定は臨時の措置として已むを得ないかも知れぬが、この方法は解決を後日に引延ばしただけで、本當の解決ではない。第一に考へられるのは議會終了後間もなく鐵鋼價

上げが起つてゐる點で、鐵鋼の如き重要資材については、歐洲戰爭進行が價格だけでなく、物資輸入などにも深刻な影響を及ぼすであらうことは夙に看取されてゐた所だから、豫算編成の上にも何かしかの考慮が拂はるべきであつた。新しい問題でもないのに急に慌て出す如きは如何にも頼りない限りである。第二に國庫損失償は問題の本質に觸れたものではない。この種の國庫補助や補償は本年度豫算で既に九億数千萬圓に達してゐる。多くは間に合せて國庫を利用したに過ぎず、效果も疑問のものが多々ある。國家財政に依頼しすぎることは進みたい。次に今度の如き決定の態度が果して戰時體制の精神に副ふか否かも一應考へてよからう。何れ鐵鋼對策審議會が設置され、各社の經理統制及合理化が行はれるやうであるが、かやうに漫々の果してよいか。自主にせよ、他主にせよ、該業全體の合理化を圖り、國家監督の下に、練達の民間人に全指導權を任じ、戰時體制の整備に率先せしむべきではないかと思ふ。

#### △生活問題解決の途 (十七日付報知)

物價の騰勢は激甚なるものがあり、勞働者及び給料生活者の生計は窮迫を告げるに至つた。この事實を前に厚生省は初級賃金率の改訂を計畫中であり、從來の軍需工業のみならず、平和産業全般を包含するに至るものと見られる。同時に今度の改訂は從來の初級賃金水準を二、三割方引上げる結果となると見られるが、この改訂の注目される所以は來る九月までに政府が實行せねばならぬ賃金の適正化と密接な關係にあるため、ここにも引上の作用は避け難い事情にある。かくも物價高による悪循環は典型的相貌を呈するが、大衆の生活苦を思ふとき一片の理論を以てこの程度の悪循環を排撃する理由とは認め難い。臨時的措置による賃金規正がこの際改訂を要するはいふまでもない。然らば眞に大衆の生活苦を解決し悪循環を防止し得る途は何か。端的にいへば戰時下にふさはしい生活の簡素化、換言すれば享樂主義的な生活の殘滓を除去することである。この新しい生活内容發見への努力は全國民に課せられた義務であり、それには社會的制裁を伴ふべき筈である。厚生當局の一考を傾はす。

#### △綱紀と官規と國民精神 (十六日付中外)

近時官僚獨善が非難され遂に官規頑廢が世上の話題に供せられてゐるやうな傾向があるが、此の如き際、戰時國民生活に最も密接な關係ある商工省が、自肅自戒、官規振肅と專

務刷新の爲め八ヶ條の申合せを行ひ直りに實踐するに至つたと聞くは寔に時宜に適したもので、此の如き傾向なり實踐なりが、滔々風を爲し、官場一帯が自肅自戒することは要するに官場の面目一新であり延いては國民精神の作興に寄與すること甚大であらう。官規軍規が頽廢したとしても、それは一般一紀の頽廢を反映するもので單に官規、軍規の頽廢のみを責めることは出來ない。官場の腐敗、墮落は事實に非ずとするも、此の如き浮説が延いては國民精神に甚大な悪影響を及ぼすことを出へば官吏たるものの自肅自戒の要は言ふを俟たぬ。吾等は世上の途説妄語を雲烟に付し、暫く官場の善行を凝視して待たなければならぬ。

一、佛國和戦の岐路 (十六日付朝日)

ボルドー市に再移轉した佛政府は十五日緊急閣議を開くが或は重大決定を行ふのではあるまいか。要するに佛政府としてはパリ城後と雖も英米の援助を頼りとして抗戦を繼續するかを検討せねばならぬ瀬戸際に立つてゐるが、抗戦繼續手段の決定は極めて困難と見られる。しかし今日佛にして單獨講和に思ふことあらんか、その降伏は大國としての地位から落ちる事を意味する。されば輕々にば處断し得ないであらう。↓

とはいへ佛國民をして單獨講和も已むを得ずと考へしむる如き實情が現存し、また反戦運動を行ひつゝある舊共產黨員の潛勢力の無視し得ないことは佛の弱點である。早晚單獨講和説の有力化するは免れぬ所で、軟論の抬頭を抑止し得るものは米の即時参戦の如き「奇蹟的」に思はれる新事態の發生であらう。

△其他一(略)「大學改革案の内容」(十七日付朝日)、「フランスの去就」(十六日付日)、「親切な勸告。民政の動向。自ら自立を。理想と現實。官革本極り」(十六日付都)

56

1 (6月17日)

△國內關係

國內關係記事は大體次項の通り。

「都」が實行豫算問題を取上げ「實行豫算編成至難、軍部の反對熾烈」を傳へ、「國民」が新黨問題に關する軍部の態度より「民政、新體制運動の牽制に失敗」と何れも四段記事で扱った外目星しい記事はない。尙「國民」が第二面に「新政治體制とは何か」(週

本日新聞概観

(第二百五十六號)

内閣情報部

一系六

一七(日)

△概観

十七日付朝刊は國內記事極めて尠いため歐米關係記事が政治面の大部分を占め、(三佛の國務會議、(三米大統領の對佛回答、(三戰況が主要ニュースをなしてゐるが、何處に重點を置くか、又編輯技術如何によつて紙面が非常に相違してくる。ソ聯がバルト海方面に動き出し、又蘭印方面も何んぞなく騒々しいが、多くの新聞は、英佛獨伊關係ニュースの取扱ひで手一杯となり、ソ聯の動きや、蘭印關係は留守にしてゐる。「朝日」がソ聯關係を、「日日」が蘭印關係を目立たせてゐるのは、編輯の眼が利いてゐるといへよう。

十七日付朝刊